

★マリガヤハウス便り★

★河野 尚子★



日本の皆様、こんにちは！ いかがお過ごしですか。こちらフィリピンは真夏が近づき、毎日太陽が元気に大地を照らしています。最近、道端でフィリピンの夏の風物詩であるハロハロ(フィリピン風かき氷)が売られ始めました。氷を食べて体を冷やしながら、フィリピンの人々は仕事に励みます。子ども達には、すぐ目の前に来ている夏休みが楽しみでしょうがないようです。が、夏休みを満喫する前の一仕事、学年末テストとの格闘真っ最中です。今年度も、みんなが有終の美を飾れますように！

【日本語教室開催と文化交流会】

マリガヤハウスでは月1回の奨学生会議の際に、日本語教室を開催しています。通常、教室では日本語会話や文法などを学んでいますが、2月7日の教室では、香港と台湾から来てくれているインターン生達から彼らの国について学ぶ異文化交流を開催しました。

中国から来たインターン生のヨーク(Yockz Wob)は、中国の歴史や文化、政治政策についてフィリピンや日本との関係にふれつつプレゼンテーションをしました。

フィリピンはChinese Townをはじめ、あらゆるところで中国文化の影響を見ることができます。この授業の次の週はChinese New Years Dayということもあり、フィリピンの街は中国風の飾りであふれていました。子どもたちにとっても、身近な話題だったのでないでしょうか。

また、ヨークは中国の民族衣装を着てプレゼンテーションをしてくれたのですが、これが子どもたちに大好評！暑い中、長袖の衣装でがんばってくれました。

次に、台湾から来たインターン生のハンナ(Hannah Li)は、中国語での数字の数え方と箸の使い方を教えました。子どもたちはハンナに続いて大きな声で「yi,er,san,si...」と復唱していました。

箸の使い方講座では、メリエンダ(おやつ)で出されたマンゴーを実際に箸で食べました。上手にかめた子もぎこちなかった子も、みんな楽しんでいるようでした。



授業の後には、ハンナがもってきた箸をみんなにプレゼントしてくれたのですが、お母さんたちにも大人気でした。家庭でも使ってくれたら、きっとにぎやかな食卓になるのではないのでしょうか。

日本語や日本文化以外にもいろいろな国について学ぶことは、子どもたちの視野をぐんと広げてくれるでしょう。

(文責:河野尚子、芳崎優美)

【マリガヤインターンのつづやき】

マリガヤハウスでインターンシップをさせて戴いている鶴木由美子です。フィリピンは初夏を迎えています。インターンシップ参加にあたって日本の真冬から渡比したため早くも夏バテ気味です。「マリガヤインターンのつづやき」と題しましたが、今回は私がマリガヤハウスのインターンシップを通じて日々感じていることを、この場をお借りして少しだけ紹介させて戴きたいと思います。

マリガヤハウスのインターンシップでは書類整理をはじめ、電話対応、クライアント(主にJFCの保護者)やJFCへのインタビュー、文書作成、法的書類翻訳、家庭訪問など様々な仕事をする機会を戴いており、マリガヤハウスの皆さんには大変感謝しています。代わる代わる来るインターン生たちに一から仕事を教え続けるのは想像するだけで大変な労力ですが、根気強く丁寧に指導戴いています。

マリガヤハウスには毎日始業から終業まで頻繁に電話が掛かってきます。電話の用件は私たちがサポート出来るようなものから、おおよそサポート出来ないようなものまで様々あります。私たちが日本での仕事斡旋業者だと誤解しているケースが多く、どうやって日本へ送ってくれるのか、どのような仕事を斡旋してくれるのか、就業ビザを取って欲しいなどの問い合わせが一日に何件もあります。マリガヤハウスはそのようなサービスはしていないのでお断りしていますが、社会背景にある出稼ぎ労働者ビジネスの巨大な市場や、無数に存在するブローカーの存在を度々意識させられます。

また、私たちがサポートしているJFCの国籍取得の先には日本での就業という結果が見えてくるので、子どもの保護者から「子どもの国籍取得後、それを活用して日本へ出稼ぎに行きたい」と相談されたり、「子どもに国籍を取らせて日本へ働きに行かせたい」と相談されることも多々あり、本来は子どもの権利を保護しているはずが、結果的に子どもへ苦勞や重圧をかけているのではないかと複雑な心境になることもあります。

なかには少数ですがアイデンティティー確立のために国籍取得をしたいと考えているJFCや、子どもに国籍取得をさせることで日本での教育の機会を作ってあげたいと考えている保護者などもおり、そのような場合にはこちらもすっきりとした気持ちでサポートしています。このように迷いのない気持ちでいつもサポートしたいところですが、なかなかそうはいかないのが現実です。

クライアントは大使館からマリガヤハウスを紹介されて電話を下さる方が大半ですが、時代を反映してか最近ではインターネットを見て問い合わせを下さる方が増えてきました。より多くの方にマリガヤハウスの活動を知ってもらえるようになったことの証明でもあり、とても嬉しく思っています。またマリガヤハウスのホームページを現在別のインターン生がリニューアル中で、未来のクライアントをはじめ私たちの活動を知りたいと思っている人たちのために、活動を分かりやすく紹介しようと工夫を凝らしています。より人に優しいマリガヤハウスへと進化するために日々奮闘中です。

JFCたちが複雑な思いを抱いている日本という国のスタッフとして活動するにあたり、JFCや保護者たちとの間に壁を感じることも度々あります。しかし日本人スタッフだからこそできる地道な仕事を日々積み重ねることで、結果的にJFCたちの可能性を広げていくことが出来ればという想いを胸に日々活動しています。

(文責:鶴崎由美子)



マリガヤハウスの主な活動

12月

- JFCネットワーク奨学生・ソロプチミスト奨学生・在日フィリピン大使館奨学生合同会議を開催。
- 2009年マリガヤハウスクリスマス会をミリアム大学内ジムにて開催。

2010年1月

- 新規クライアント受理前にオリエンテーションを開催。
- 新規クライアント登録会議を開催。
- 新規受理クライアントへの家庭訪問を実施。
- JFCネットワーク奨学生・ソロプチミスト奨学生・在日フィリピン大使館奨学生合同会議と日本語教室を開催。
- 香港アイセックインターン生ヨークさんとライアンさんを受け入れ。
- IOM(国際移住機関)との会議に参加。
- 認知後の国籍申請のため在比日本大使館を訪問。
- ローカスから依頼されたDNA鑑定実施。

2月

- 新規クライアント受理前にオリエンテーションを開催。
- 新規クライアント登録会議を開催。
- 新規受理クライアントへの家庭訪問を実施。
- JFCネットワーク奨学生・ソロプチミスト奨学生・在日フィリピン大使館奨学生合同会議、日本語教室、異文化交流会を開催。
- 早稲田アイセックインターン生鶴木由美子さんを受け入れ。
- DAWN(Development Action for Women Network)のインターン生伊藤ユウジさんが訪問。
- PJP(フィリピン・ジャパン・パートナーシップネットワーク)2010年プロジェクト計画会議に参加。
- IOM(国際移住機関)との会議に参加。
- 認知後の国籍申請のため在比日本大使館を訪問。
- ローカスから依頼されたDNA鑑定実施。
- フィリピンNGOの日比国際結婚のための政策作成プロジェクトにて、JFC母親2人が自分達の経験をシェアリング。

